

私たちの生活と尼海とを つなげる循環と市民との協働・共創

大学院シオテクノサイエンス研究部
Eシステムデザイン部門
社会環境システム工学大講座教授
上月康則（こうづきやすのり）

尼崎のイメージ

みなさん、尼崎という街を知っていますか？特に尼崎の南部臨海部は、阪神工業地帯の中心部として発展したために、地盤沈下、大気汚染、水質汚濁などの公害が激化した時期もありました。しかし、今では環境モデル都市に指定されるなど、環境と調和したまちづくりが積極的に進められ、私たちも、そんな活動を支援するように研究を行ってきました。

「ほっといたらあかん」

「環境は将来世代を含めた地球上のすべての生き物の共有物であるので、環境を汚した場合には元に戻して、次世代に受け渡さないといけない」と言われています。尼崎の海や運河も汚れたまま「ほっといたらあかん！」のですが、実際に海や運河をきれいにすることは大変難しく、有効な方法もありませんでした。そこで、私たちは新たに、『そこにいる生き



運河水質浄化施設で“どろの中の生き物”をさがす小学生、学習者は一年間で400名を超える

物と私たちの力をあわせて水質を改善すること』を考えました。本来、自然の環境には、生物間の物質のやり取りの中で水質を浄化する、自然浄化作用というものが備わっているのですが、尼崎のように激しく環境を壊してしまった所では、その力が働かなくなっています。私たちは、その弱点を人の手で補い、物質を滞りなく循環させ、水質を良くする「Human-Ecosystem浄化水路」を考えました。3年間の実証試験で浄化効果が確認され、2012年には運河に水路が設置されました。このような運河の浄化施設は世界初です。また港では「尼崎の海に恩返し

海と私たちの生活を つなげる循環

尼崎の海では、海の栄養で生長した植物プランクトンが大量発生する赤潮が慢性的に起こっています。またこのプランクトンを餌に成長する貝も大量に生息していますが、貝はそのままにしておくと海底に落ちて、ヘドロ化してしまいます。そこで、「尼海の恵み」として、循環、活用することを考えました。まず、生物を陸上にとりあげ、枯草などと混ぜて堆肥にし、地元特産の「アマイモ」や菜の花を育てます。この菜の花の種からは油を搾り、それで芋の天ぷらを食し、廃油は車の燃料にして使います。また私たちのし尿は、適切に処理し、尼崎の海に戻します。一連の循環で注目すべきことは、汚れの素として扱われてきた海の栄養をイモという形に変

海や運河に対する 価値観が変わる

このような循環を経験した子どもたちは、「汚い、危ない、行ったらあかん」と言われていた海や運河を、「汚いけど、楽しい、私たちの水辺」と感じるようになってきました。尼海や運河での経験を外で発表し、周りの大人たちにも語り始めたのです。その結果、中学生たちは環境学習に関する数々の賞を受賞、高校生は国際会議に招待され、世界に向けた情報発信をするようになりました。また兵庫県と尼崎市と大学の三者で研究協定も締結しました。私はこのような状況を「環境価値の共創スパイラル」と呼んでおり、益々研究活動の内容も充実していくと楽しみにしています。皆さんも「尼海の会」の活動にご期待下さい。



尼海の会のワカメの種付け活動

Tokudai NEWS 徳大ニュース

モンゴル健康科学大学 バトバートル・グンチン新学長及び アマルサイハーン・バザール新副学 長が本学を表敬訪問

10月3日、モンゴル健康科学大学バトバートル・グンチン新学長及びアマルサイハーン・バザール新副学長が本学を表敬訪問しました。今回は、モンゴル健康科学大学の新体制発足に伴い、就任して初めての交流協定締結校の訪問先として徳島大学を訪問されました。最初に、バトバートル・グンチン新学長からは、モンゴル健康科学大学の発展のために、協定に基づき学生の教育、研究者の育成等に貢献している徳島大学に対して感謝の言葉がありました。また、モンゴル健康科学大学に大学病院が設置されるのにもない、病床数及び階数等の具体的な説明があり、改めてサポートの要請がありました。

優秀な学生の派遣、研究者同士の交流等を通じて、今後も関係を

深めていくこと、相互に向上し合える関係の構築に努力していくことを確認しました。



モンゴル健康科学大学学長らと本学関係者

徳島大学生協が厚生労働大臣 表彰を受けました

10月23日、徳島大学生協は、長年の健全な事業運営やその功績が認められ、厚生労働大臣表彰を受けました。

徳島大学生協は、教科書販売や学生食堂の運営等で、学生生活に大きな役割を果たしてきました。近年では、学生食堂や店舗のり

ニユールを行うとともに、食生活相談会や農業体験を企画する等、従来の「お店」や「食堂」のイメージとは大きく異なった業務も行っていきます。様々な企画は、学生が主体的に活動し、交流を広げる場ともなっています。今回の表彰では、施設の充実だけではなく、学生のニーズに合わせたサービス、学生生活を豊かにする様々な取り組みについても評価がされました。厚生労働省で行われた表彰式には、清水専務理事が出席し、表彰状と記念品が授与されました。



5月にリニューアルした蔵本生協入口

第60回 徳島大学解剖体慰霊祭

10月25日、大塚講堂にて、第60回徳島大学解剖体慰霊祭を執り行いました。解剖体慰霊祭は、本学の医学・



解剖体慰霊祭

歯学の発展のためにご献体いただいた方々の霊を慰めるために、毎年行われています。第60回を迎えた今回は、平成24年9月から平成25年8月末までにご献体いただいた77人の方々に黙祷を捧げ、祭主の苜原稔医学部長らから追悼の言葉がありました。医療を志す学生にとって、実際の人体を使って構造等を学ぶ解剖実習は不可欠であり、教科書では学べない貴重な経験をする場となります。また、知識を得るだけではなく、将来の医療を担う者としての使命感を自覚する機会ともなります。参列した遺族及び白菊会の方々、学生、大学関係者ら約560人は、ご献体いただいた方々の尊い志に思いをはせつつ、献花を行いました。

読者の 言葉の

・就職が番気になることなので、より多くの体験談、情報がほしいです。
・授業の様子等も見たいです。

「就職状況や進学に関する情報を増やしてほしい」という要望はいつもたくさんいただいております。徳大広報とくtalkでは毎年夏号に「就職状況報告」、秋号に「就職活動記」を掲載しております。今後も定期的の特集を組むなどして、学生側から見た就職活動や大学で把握している統計情報などを、よりわかりやすく掲載したいと考えております。

また、授業の公開についての要望もいただいております。本学の授業では、従来の授業の他に、eラーニングによる無料の講義配信も行われるようになり、授業のあり方も多様化しています。世界中から学生を集める動きもあり、今後、掲載を検討していきたいと思っております。

順天堂大学の天野篤教授を
お招きして第30回青藍会・
医学科講演会を開催



講演する天野教授

10月31日、大塚講堂にて、順天堂大学の天野篤教授をお招きして、第30回青藍会・医学科講演会を開催しました。本講演会は、医学界の著名な方々に講演いただくことにより、本学の医学教育や医療の現場に役立つ知識を得ることを目的とし、今回で30回となります。

今回講演をされた天野教授は、心臓外科の権威であり、天皇陛下の心臓手術を執刀されたことで有名です。講演では、心疾患の病態や治療方法の説明に加え、患者さんの家族への配慮や周囲との関係の大切さ等、医師としてのあり方

についてもお話しいただきました。また、「手術の後に反省することがある」との人間的なコメントには会場の空気が和らぎました。その上で「問題が何であったか、どのように解決するかを考え、次の手術に役立てる」と、前向きで謙虚な姿勢の大切さについてもお話しいただきました。

会場には、一般の方々、医師会会員、学生、教職員等約400人が来場し、熱心に講演に耳を傾けました。

**徳島大学常三島祭、
蔵本祭を開催**



雷連による阿波踊り(常三島祭)



おいしいドーナツを作りました(蔵本祭)

11月2日から4日までの3日間、常三島祭、蔵本祭を開催しました。常三島祭と蔵本祭は、学生同士の間でつながりや交流を深め、地域の方々にも本学に親しみを持っていただくことを目的に行われ、今年で常三島祭は61回目、蔵本祭は29

回目となりました。期間中、常三島、蔵本の両キャンパスでは、様々な企画が行われ、模擬店も多数出店しました。

**徳島大学藤井節郎記念
医科学センター完成記念式典**

11月18日、徳島大学藤井節郎記念医科学センターにて、完成記念式典を行いました。

藤井節郎記念医科学センターは、本学医学部の教授を務め、急性肺炎の特効薬開発等に貢献した故藤井節郎氏が設立した一般財団法人藤井節郎記念大阪基礎医学研究奨励会の寄付により、平成24年4月から建設が進められてきました。完成した藤井節郎記念医科学センターは、広いオープンラボや機器室等を備えた最新の研究施設で、生命科学を中心とする若手研究者の育成、世界トップクラスの研究拠点の構築を目指します。



藤井節郎記念医科学センター

完成記念式典では、香川学長から、一般財団法人藤井節郎記念大阪基礎医学研究奨励会の高田理事長と故藤井節郎氏の研究を支えられた慶子夫人に記念品が、工事関係者の方々には感謝状が贈呈されました。

基礎医学の発展に尽くし、若い

世代の研究者の援助を念願された故藤井節郎氏の遺志を受け継ぎ、更なる学術・研究の発展に貢献していくことが今後の課題となります。

叙勲

- 平成25年秋の生存者叙勲を次の方が受章されました。
- 瑞宝中綬章 森吉孝 徳島大学名誉教授教育研究功勞
- 瑞宝中綬章 篠原能材 徳島大学名誉教授教育研究功勞
- 瑞宝小綬章 池田早苗 徳島大学名誉教授教育研究功勞



ガレリア新蔵 NEWS

第6回 特別展

「徳島大学の至宝」

平成25年9月26日(火)〜11月22日(金)

**第7回 特別展 徳島大学附属図書館所蔵
「江戸時代後期に出版された
世界図と日本図」開催中**

平成25年12月上旬〜平成26年2月21日(金)

徳島大学は、新蔵・常三島・蔵本の3つのキャンパスすべてが遺跡の上に位置しています。埋蔵文化財調査室は、1982年以降、建物の新設等に伴って50件にも及ぶ発掘調査を行っています。なかでも蔵本キャンパスは、県内でも大規模な弥生時代の初期農耕集落遺跡「庄・蔵本遺跡」であることが分かっています。2012年に行った調査では、数多くの弥生土器や石器、イネの炭化粉などが出土しています。そこで第6回特別展「徳島大学の至宝」では、2012年調査出土品の中でも選りすぐりの逸品を厳選して展示しました。そのほかの出土品については、今後とも特別展として開催予定です。ご期待ください。

附属図書館が所蔵する、江戸時代後期に日本で出版された世界図や官板実測日本図(複製)などを展示しています。この展示会を通して当時の日本人の地理的知識・世界観を再確認することを目的としています。是非、ご覧ください。



蔵本キャンパスから出土した弥生土器

NICHIA Ever Researching For a Brighter World
身近なところで**NICHIA**の製品は活躍しています

日亜化学工業株式会社
徳島県阿南市上中町岡491番地
TEL:0884-22-2311
<http://www.nichia.co.jp/jp/recruit/expert.html>

HOTEL CLEMENT TOKUSHIMA
ホテルならではの上質な空間と、行き届いたサービス。
2013年夏、すべての客室・レストラン・宴会場などのリニューアルが完成しました。

JR徳島駅直結ホテル

ホテルクレメント徳島
〒770-0831 徳島市寺島本町西1-61
tel.088-656-3111

★詳しくはHPにて <http://www.hotelclement.co.jp>

ホテルサンルート徳島 ご宿泊・ご宴会はホテルサンルートをご利用下さい。
徳島駅前最上階の至福 天然温泉浴場「びざんの湯」 ご宿泊のお客様は無料でご利用頂けます。

〒770-0834 徳島市元町 1-5-1 (MEITEN-GAIビル) TEL 088-653-8111 <http://www.sunroute-tokushima.com/>

PARK WESTON HOTEL & WEDDING
パークウエストン ホテル&ウエディング
<http://parkweston.jp>